第6講 【中世編】イスラーム世界の形成と発展

PART4 イスラーム世界の分裂2

Chapter 1　中央アジア, イベリア半島, 北アフリカの状況

目標　中央アジアに王朝を建てた民族の変遷について知ろう。
イベリア半島や北アフリカは西欧とどんな関係にあったのだろうか。

1　中央アジアのイスラーム王朝

①**サーマーン朝**（875年～999年）

イラン系王朝。アッバース朝カリフの権威を認めつつ，支配地を拡大

トルコ人をカリフの親衛隊に，**マムルーク**（トルコ系軍人奴隷）として供給

②**カラハン朝**（10世紀半ば頃～12世紀半ば頃）

トルコ系初のイスラーム王朝として成立。その後，サーマーン朝を滅ぼす

→中央アジアのトルコ化が進む

〔　　　　　　　　　　　　　　〕（1077年～1231年）

トルコ系マムルーク出身者が建国

同じトルコ系のセルジューク朝が滅ぶと，中央アジアからイランにまで支配地を拡大したが，13世紀前半，**モンゴル**軍に征服され，滅亡

2　イベリア半島のイスラーム王朝

①**後ウマイヤ朝**（756年～1031年）

ウマイヤ朝（750年）滅亡後，イベリア半島に逃れたウマイヤ家の一族が建国。首都は**コルドバ**

→イベリア半島にイスラーム教が広がる

②〔　　　　　　　〕（1232年～1492年）

イベリア半島最後のイスラーム王朝。1492年，スペイン王国に滅ぼされる

→キリスト教徒による〔　　　　　　　　　　〕（**国土回復運動**）が完了

首都〔　　　　　　　〕には**アラベスク**で装飾された世界文化遺産の

〔　　　　　　　　　　　〕がある

3 北アフリカのイスラーム王朝

エジプト以西の北アフリカ（**マグリブ**）では，先住民である〔　　　　　　　　〕のイスラーム教（スンナ派）への改宗が進んでいた。

①〔　　　　　　　　〕（1056 年～ 1147 年）

11 世紀半ば，モロッコの〔　　　　　　　　〕を首都に成立した**ベルベル人**の王朝

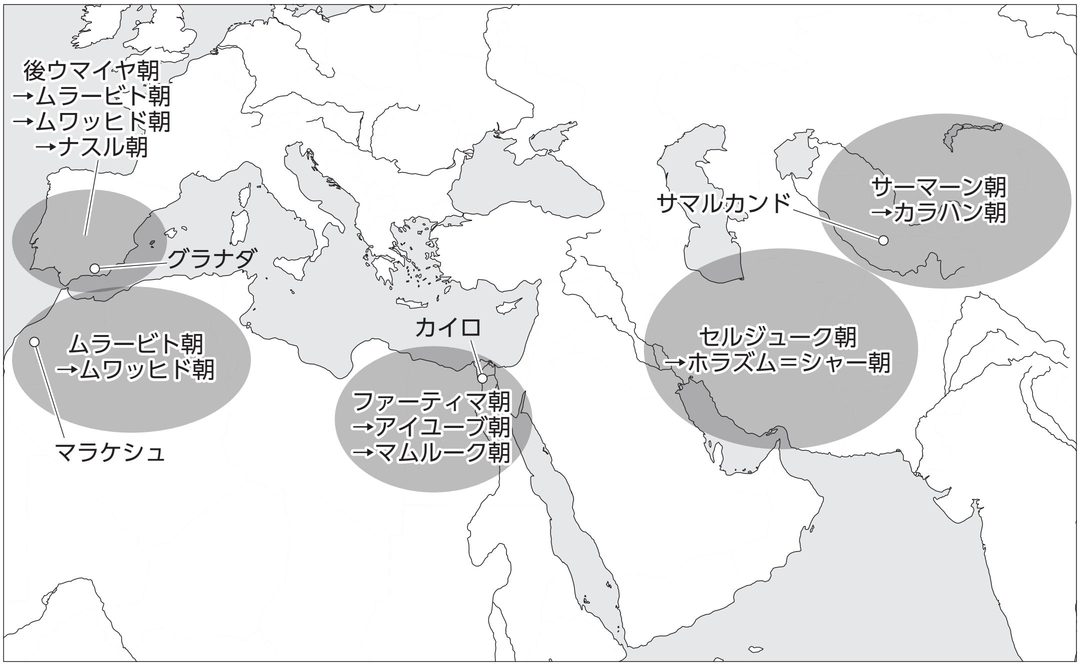
ガーナ王国を滅ぼす

②〔　　　　　　　　〕（1130 年～ 1269 年）

12 世紀前半にムラービト朝を批判する宗教運動がおこり，成立したベルベル人の王朝

ムラービト朝を滅ぼす。首都は**マラケシュ**

→両王朝とも，後ウマイヤ朝滅亡（1031 年）後に盛んになっていた**レコンキスタ**に対抗するためイベリア半島に進出したが，13 世紀初めにキリスト教連合軍に敗れた



各地域のイスラーム王朝

まとめ

中央アジアにはイラン系のサーマーン朝が建てられた。トルコ人が台頭すると，トルコ系のカラハン朝が成立した。

イベリア半島のナスル朝，北アフリカのムラービト朝とムワッヒド朝はレコンキスタに対抗した。

Chapter 2　エジプトの状況とモンゴル人の西アジア支配

目標
エジプトのイスラーム王朝の対外的な活動について学ぼう。
モンゴル人の西アジア征服はどのように進んだのだろうか。

1　エジプトのイスラーム王朝

①**ファーティマ朝**（909年～1171年）

シーア派の王朝で，10世紀後半にはエジプトを征服し，首都**カイロ**を建設した

②〔　　　　　　　　　　〕（1169年～1250年）

〔　　　　　　　　　　〕（**サラーフ＝アッディーン**）が建国

1171年にファーティマ朝を滅ぼし，**スンナ派**の支配を回復。首都は**カイロ**。**マムルーク**を重用して強力な軍隊を組織し，十字軍国家に反撃。1187年にはイェルサレムを奪還

→第３回十字軍を撃退

③〔　　　　　　　　　　〕（1250年～1517年）

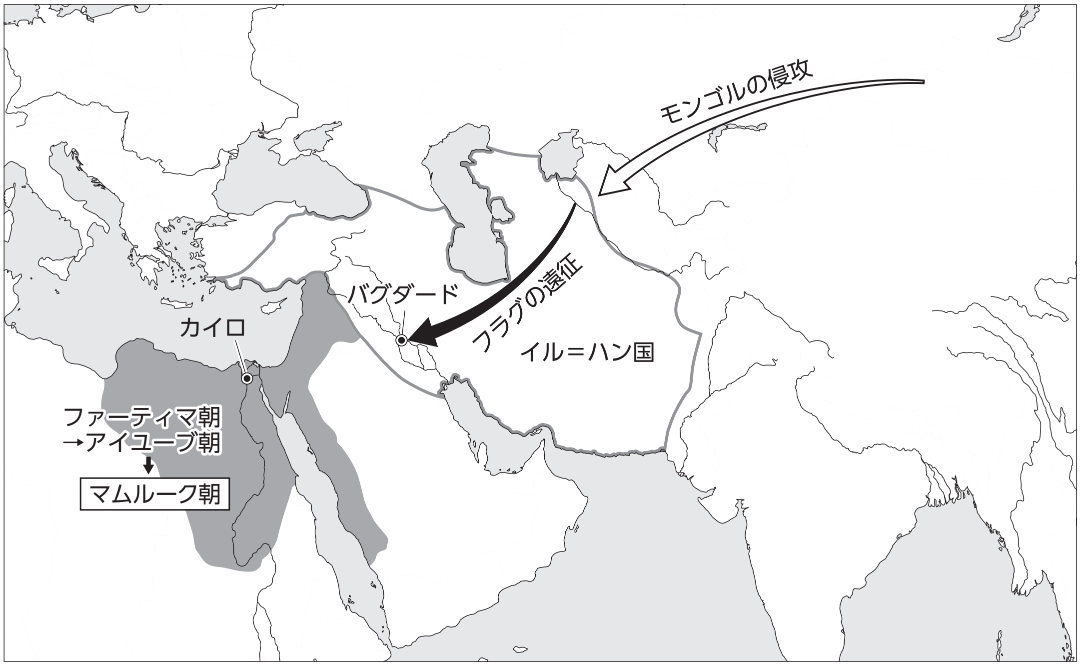
A　マムルーク朝の成立と支配

アイユーブ朝のマムルーク軍団がクーデタをおこし，アイユーブ朝を滅ぼす。**フラグ**の**モンゴル**軍を撃退。モンゴル軍によって滅ぼされた**アッバース朝**の一族をカリフとして擁立し，支配を固め，1291年には十字軍最後の拠点である**アッコン**を陥落させ，**十字軍を終わらせた**

B　交易の発展

モンゴル軍に侵攻された**バグダード**に代わり，首都**カイロ**が商業・手工業の中心都市として繁栄した

※11世紀以降，カイロを拠点とする〔　　　　　　　　　　〕と呼ばれるイスラーム商人集団が，インド洋・紅海と地中海を結ぶ**香辛料**交易を独占した。



エジプトの王朝とモンゴルのアジア支配

2　モンゴルの西アジア進出とイル＝ハン国

①モンゴルの西アジア進出（13 世紀半ば）

1258 年，〔　　　　　　　〕率いるモンゴル軍がバグダードに侵攻し，500 年続いた**アッバース朝**を滅ぼした

②**イル＝ハン国**（1258 年～ 1353 年）

フラグがイランに〔　　　　　　　　　　　〕を建国。第７代の〔　　　　　　　　　　　〕は自ら**イスラーム教に改宗**し，イスラーム教を国教に定めてイスラーム文化を保護した。

また，交通網が整備され，ユーラシア大陸東西の交易が活発になった

→東アジアの文化が伝わり，**イラン＝イスラーム文化**が栄えた

※宰相〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の『集史』など。

※火薬・羅針盤・印刷術などが**モンゴル**経由でヨーロッパに伝わり，世界史に大きな影響をもたらした。

まとめ　アイユーブ朝は第３回十字軍を撃退し，マムルーク朝はフラグのモンゴル軍を退けたほか，十字軍を終わらせた。
フラグがアッバース朝を滅ぼし，西アジアにイル＝ハン国を建てた。

第 6 講　PART 4　確認問題

1 トルコ系マムルーク出身者が建国し，12 世紀末に中央アジアからイランまで支配地を広げた王朝はどれか。

① セルジューク朝　② サーマーン朝
③ ブワイフ朝　④ ホラズム＝シャー朝

2 スペイン王国に滅ぼされたナスル朝の首都グラナダにある世界文化遺産はどれか。

① カーバ神殿　② パルテノン神殿
③ アルハンブラ宮殿　④ ヴェルサイユ宮殿

3 ムラービト朝を建てたマグリブの先住民はどれか。

① トルコ人　② ベルベル人
③ イラン人　④ クルド人

4 ムラービト朝を滅ぼし，イベリア半島でレコンキスタに対抗した王朝はどれか。

① ウマイヤ朝　② 後ウマイヤ朝
③ ムワッヒド朝　④ ササン朝

5 エジプトでアイユーブ朝を創始し，第 3 回十字軍を撃退したのはだれか。

① サラディン（サラーフ＝アッディーン）　② リチャード 1 世
③ ハールーン＝アッラシード　④ トゥグリル＝ベク

6 モンゴル軍を撃退し，また，十字軍を終わらせるなど，カイロを中心に繁栄した王朝はどれか。

① マムルーク朝　② トゥールーン朝
③ ファーティマ朝　④ プトレマイオス朝

7 モンゴル軍を率いてアッバース朝を滅ぼした人物はだれか。

① チンギス＝ハン　② アブー＝バクル
③ フラグ　④ ムアーウィア

8 イスラーム教を国教にしたイル＝ハン国の第７代君主はだれか。

① ユスティニアヌス大帝　② ニザーム＝アルムルク
③ ガザン＝ハン　④ ラシード＝アッディーン

第6講　PART4　確認問題 解答

1 解答：④　トルコ系マムルーク出身者が**ホラズム＝シャー朝**を建国し，セルジューク朝滅亡後に中央アジアからイランまで支配地を拡大した。サーマーン朝，ブワイフ朝はイラン系王朝。

2 解答：③　イベリア半島南部のグラナダには世界文化遺産の**アルハンブラ宮殿**がある。

3 解答：②　マグリブ（エジプト以西の北アフリカ）の先住民**ベルベル人**はイスラーム教に改宗し，11 世紀半ばにムラービト朝を建てた。

4 解答：③　ムラービト朝を滅ぼして成立した**ムワッヒド朝**はレコンキスタ（国土回復運動）に対抗したが，13 世紀初めにキリスト教徒連合軍に敗れた。

5 解答：①　アイユーブ朝を創始した**サラディン（サラーフ＝アッディーン）**は強力な軍隊を組織し，十字軍国家からイェルサレムを奪還，さらに第 3 回十字軍を撃退した。

6 解答：①　**マムルーク朝**はフラグのモンゴル軍を撃退し，十字軍最後の拠点アッコンを陥落させた。

7 解答：③　チンギス＝ハンの孫の**フラグ**はモンゴル軍を率いてアッバース朝を滅ぼした。

8 解答：③　イル＝ハン国第 7 代君主の**ガザン＝ハン**は，イスラーム教を国教にしてムスリムの支持を得た。ラシード＝アッディーンはガザン＝ハンに仕えたイル＝ハン国の宰相。